

東北地域における半導体関連の 人材育成・確保事業の取組

2026年3月10日 柴山 耕一郎

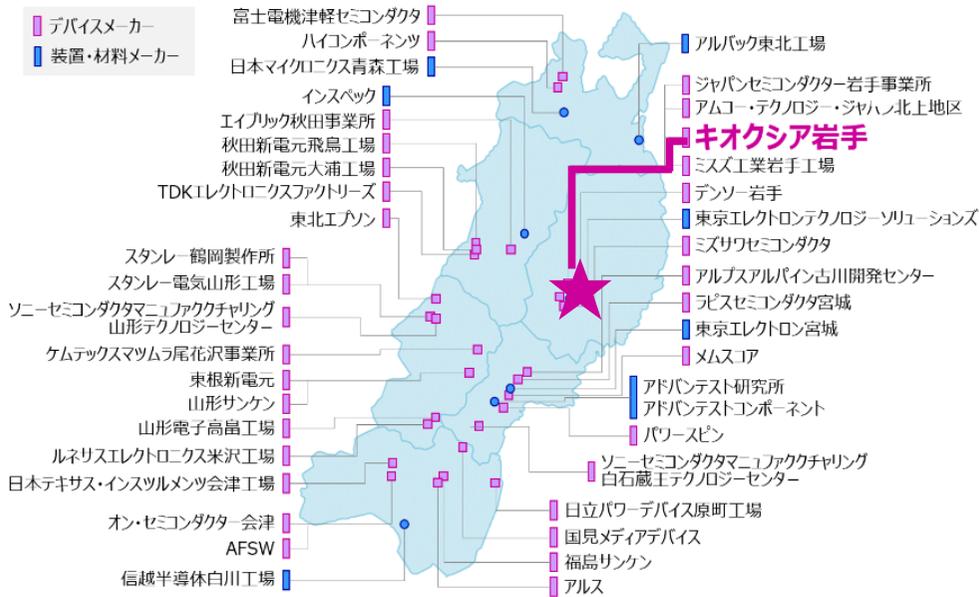
東北半導体・エレクトロニクスデザインコンソーシアム 会長

いわて半導体関連産業集積促進協議会 会長

(キオクシア岩手株式会社 代表取締役社長)

産・学・官 連携による半導体産業の競争力強化 ⇒ 日本の半導体産業基盤強化

東北に多くの半導体関連企業が集積



東北経済産業局 資料より

産・学・官の連携

取組課題

- ・人材育成/確保
- ・サプライチェーン強靱化
- ・半導体関連技術 研究の推進



T-Seeds
東北半導体・エレクトロニクス
デザインコンソーシアム
2024年設立, 現在168(社・団体)社が加入



I-SEP
いわて半導体関連産業集積促進協議会
2008年設立, 現在464(社・団体)社が加入

キオクシア岩手の積極参加

(T-Seeds, I-SEPの会長: 柴山耕一郎)

T-Seedsによる人材育成の取組

1. T-Seeds発足(2024年度) から大学・高専向けの人材育成・確保事業を2025年度も継続・拡大。
2. 低関心層等へのアプローチを強化。

1.人材育成・確保事業

半導体産業の理解促進を図り、半導体産業を志す学生の絶対数の増加を目指す。

プログラム	2025年度 参加者数	2024年度 参加者数
半導体産業啓発講義	12,750名	-
オープンセミナー	34名	51名
オンデマンド講座	267名	297名
実習	65名	97名
企業視察ツアー	302名	88名
インターンシップ	84名	120名
計	13,502名	653名

2.低関心層

若年層(小中学生)や普通科高校をターゲットとした取組。

- ①魅力発信コンテンツの活用
- ②自治体等イベントへの出展



文科省事業「成長分野を支える半導体人材の育成拠点の形成(enSET)」拠点校
東北大学【東北半導体タレントハブの構築】事業と連携して拡張と深化を目指す。

T-Seedsによる人材育成の取組

●半導体産業啓発講義

2024年度より山形大学で「山形・東北と半導体」を開講、[T-Seeds会員企業](#)から半導体関連産業の魅力、各社事業内容と[大学での学びを活かせる産業](#)であることをPR（文理問わず受講可）

2025年度は岩手大学、仙台高専、秋田高専で開講、2026年度以降も更なる横展開

2024年度「山形・東北と半導体」のプログラム

- ① 講義の進め方とガイダンス
- ② 半導体って何？
- ③ 東北大学と半導体（東北大学）
- ④ 東北地方と半導体産業（東北経産局）
- ⑤ インспекク（秋田）
- ⑥ 信越半導体（福島）
- ⑦ スズキハイテック
- ⑧ キオクシア岩手（岩手）
- ⑨ 東北エプソン
- ⑩ ルネサスエレクトロニクス
- ⑪ 東京エレクトロン宮城（宮城）
- ⑫ 東根新電元
- ⑬ ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング 山形TEC
- ⑭ 富士電機津軽セミコンダクタ（青森）
- ⑮ まとめ



河北新報(2024.7.13)

- 山形大学
- 岩手大学
- 秋田高専
- 仙台高専
- 弘前大学（来年度予定）
- 秋田大学（来年度予定）
- 日本大学工学部（来年度予定）

東北各地の大学・高専
半導体啓発講義を開講

I-SEPの活動 —I-SPARKと大学・高専・高校・中学・小学生向け取組—

産学官連携で人材育成施設を整備

次世代人材の育成
学生の研修・講座等

体験型 魅力発信
小中学生向けイベント

メンテナンス
エンジニアの育成

半導体製造装置を3台備えた研修施設

I-SEPの活動 —T-Seeds等と連携した広域の取組—



- ▶ 県内外の大学・高専や企業等を対象としたミニマルファブ研修の実施
- ▶ 大手デバイス・装置メーカー等と連携したインターンシップの実施
- ▶ 子供たちから外国人を含めた幅広い層への半導体事業の啓発

I-SEPではI-SPARKの機能・規模拡張を議論する計画

人材育成を視点とした産学の対話は十分か？

- 産業側からはアカデミアへのアプローチを拡大
- 要素技術を習得していれば即戦力か、という課題
産業側が必要としている人材をアカデミア側とより一層共有することが重要
- 若年層へのアプローチの必要性